

【秋の公園写真コンテスト最優秀賞作品】



(兵庫県知事賞)

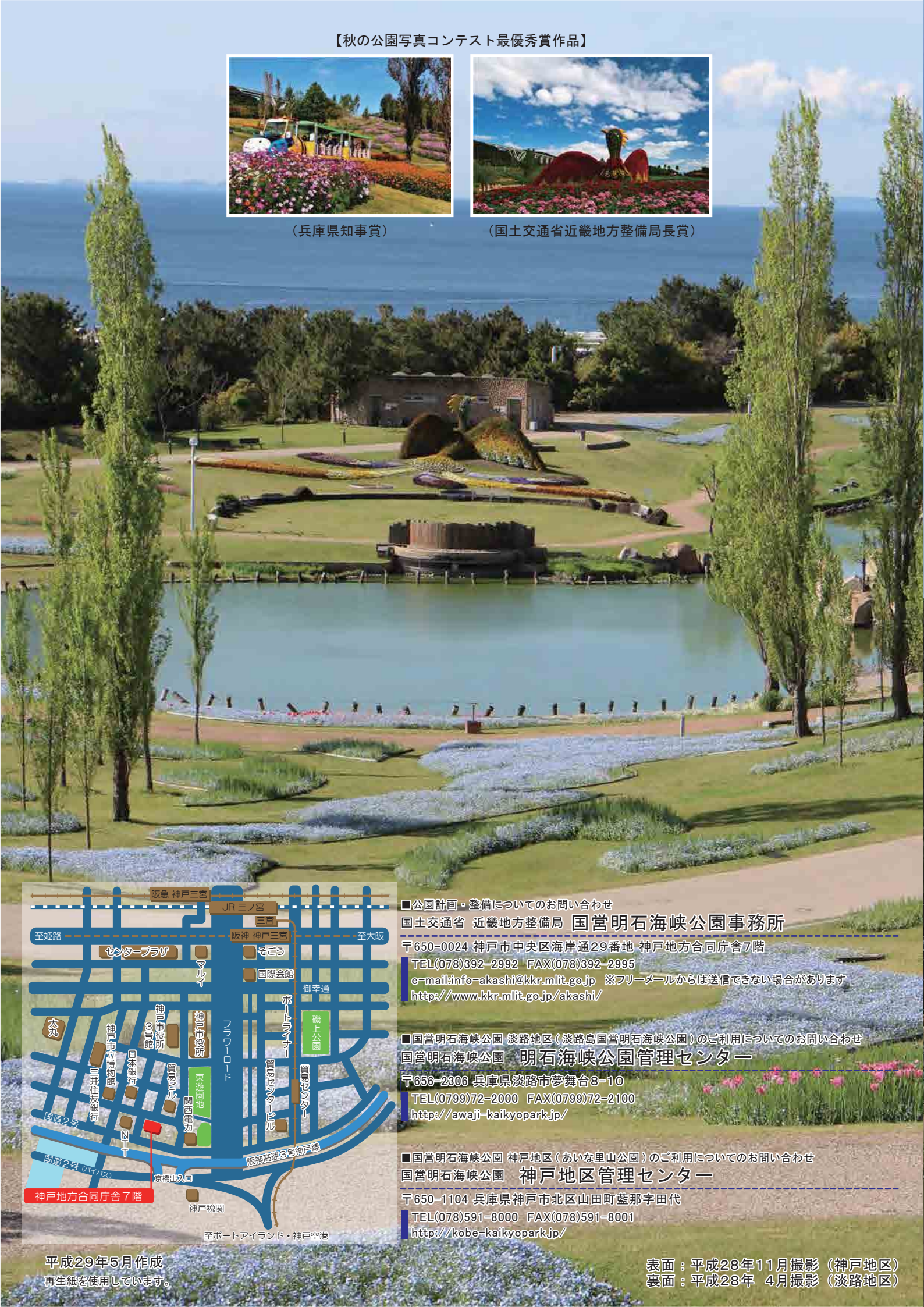


(国土交通省近畿地方整備局長賞)

平成29年度事業概要



国営明石海峡公園
Akashi Kaikyo National Government Park



■公園計画・整備についてのお問い合わせ
 国土交通省 近畿地方整備局 国営明石海峡公園事務所
 〒650-0024 神戸市中央区海岸通29番地 神戸地方合同庁舎7階
 TEL(078)392-2992 FAX(078)392-2995
 e-mail:info-akashi@kkr.mlit.go.jp ※フリーメールからは送信できない場合があります
<http://www.kkr.mlit.go.jp/akashi/>

■国営明石海峡公園 淡路地区(淡路島国営明石海峡公園)のご利用についてのお問い合わせ
 国営明石海峡公園 明石海峡公園管理センター
 〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台8-10
 TEL(0799)72-2000 FAX(0799)72-2100
<http://awaji-kaikyopark.jp/>

■国営明石海峡公園 神戸地区(あいな里山公園)のご利用についてのお問い合わせ
 国営明石海峡公園 神戸地区管理センター
 〒650-1104 兵庫県神戸市北区山田町藍那字田代
 TEL(078)591-8000 FAX(078)591-8001
<http://kobe-kaikyopark.jp/>

平成29年5月作成
再生紙を使用しています。

表面：平成28年11月撮影(神戸地区)
裏面：平成28年4月撮影(淡路地区)

国営明石海峡公園

「自然と人との共生、人と人との交流」

設置目的

国営明石海峡公園は、明石海峡を挟んで、兵庫県淡路市の『淡路地区』と神戸市北区・西区の『神戸地区』の2地区で構成され、全体計画面積330ha、全国で16番目のイ号国営公園です。

近年の余暇時間の増加に伴う、主として近畿地方の広域レクリエーション需要の増大に対処するため設置する大規模公園であり、併せて明石海峡大橋を中心とした明石海峡周辺地域の広域レクリエーションゾーンの形成に寄与するもので、平成5年度より整備着手しました。

淡路地区（淡路島国営明石海峡公園）と神戸地区（あいな里山公園）

淡路地区は、かつて緑を失った大規模な土取り場跡地の自然を回復し、立体的で多品種の花壇デザインによる美しい花の景色を創出することで花の島・淡路島を代表する観光の中心的な施設となり、周辺施設と連携を図りながら整備を進めています。

神戸地区では、数百年に渡って農業空間として維持されてきた豊かな里山が、燃料革命や生活スタイルの変化により手入れがされなくなり、ネザサやツル等が繁る荒れた状態であったのを公園整備で人の手を加え、里地里山の典型的な景観を甦らせています。



(淡路地区)



(神戸地区)

国営明石海峡公園の位置

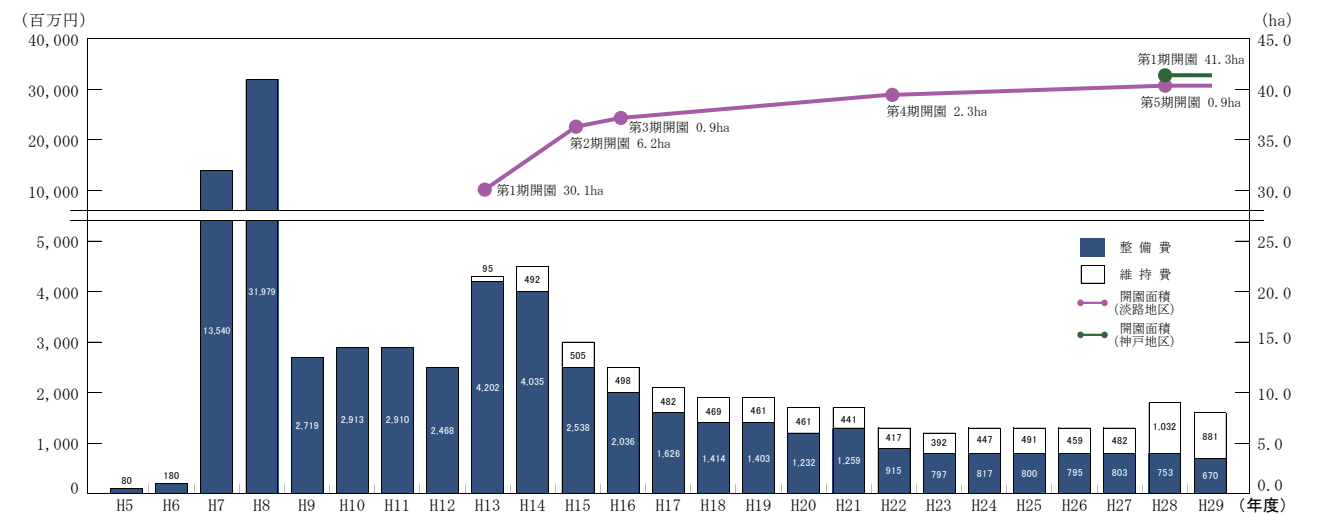
国営明石海峡公園は、兵庫県内、近畿各方面からの利用の他、全国及び世界各国からの利用を想定し、近隣施設との連携を図りながら、日帰り型及び宿泊型のレクリエーションに対応することを目指しています。



事業経緯

昭和51年度	都市公園等整備緊急措置法及び都市公園法の一部を改正する法律(国営公園制度)施行
平成2年度	都市公園法施行規則改定により、関東と近畿に2番目のイ号国営公園の設置が可能になる
平成2年度	大規模公園の基本構想の検討(候補地抽出)
平成3年度	国営明石海峡公園(仮称)基本構想及び周辺地域計画策定(候補地選定)
平成4年4月	明石海峡周辺地区での大規模公園調査が公園事業調査費で認められる(基本構想)
平成5年4月	国営明石海峡公園の事業化
平成6年12月20日	淡路東浦都市計画公園・淡路島公園(国営明石海峡公園(淡路地区))都市計画決定
平成8年3月11日	国営明石海峡公園(淡路地区:文化交流ゾーン、海岸ゾーン)事業承認
平成9年2月28日	神戸国際港都建設計画公園・しあわせの森(国営明石海峡公園(神戸地区))都市計画決定
平成9年3月14日	国営明石海峡公園(神戸地区)事業承認
平成9年3月25日	建設大臣が事業者として国営明石海峡公園を設置すべき区域を決定

事業費の推移



全国の国営公園

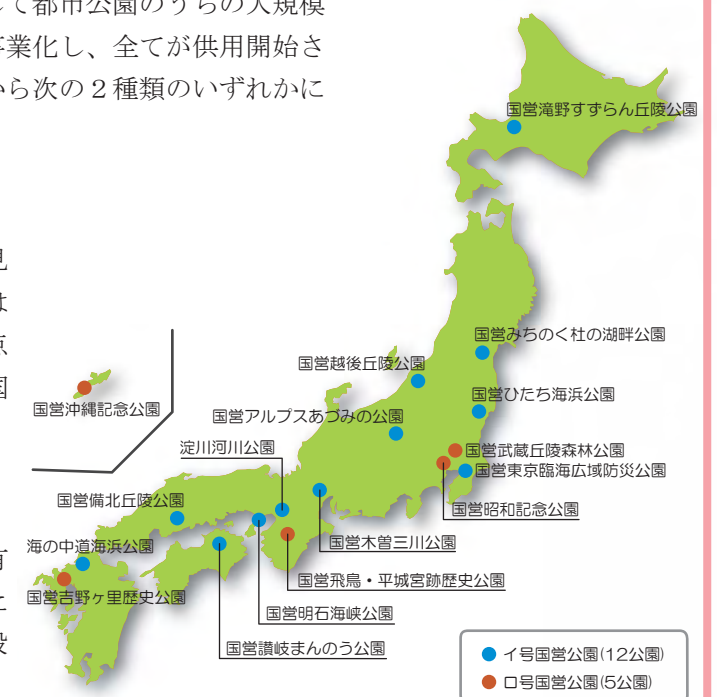
国営公園は、国の設置する営造物公園として都市公園のうちの大規模公園に位置づけられ、現在全国で17箇所が事業化し、全てが供用開始されています。国営公園は、その設置の趣旨から次の2種類のいずれかに規定されます。(都市公園法第2条第1項)

◆イ号国営公園

一の都府県の区域を超えるような広域の見地から設置する都市計画施設である公園又は緑地(災害時に広域的な災害救援活動の拠点となるものとして国が設置する都市公園と国が設置するその他の都市公園に分けられる)

◆ロ号国営公園

国家的な記念事業として、又は我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るために閣議の決定を経て設置する都市計画施設である公園または緑地



淡路地区

計画面積96.1ha 供用面積40.4ha

コンセプトは「海辺の園遊空間」

約100haの大規模な土取り跡地の自然を回復し、国際的でリゾート感溢れる海辺の園遊空間を創ります。

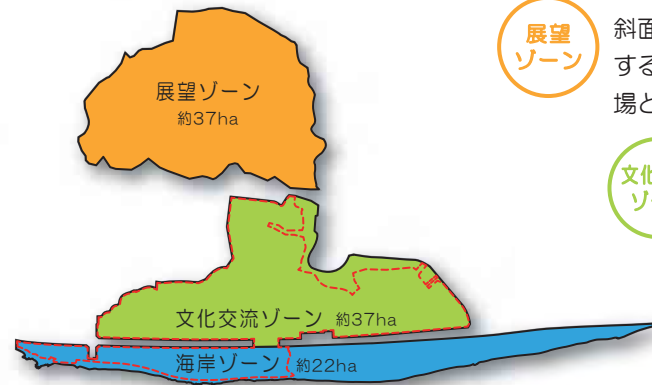


(平成6年撮影)

基本テーマ

1. 自然回復と望ましい環境形成を目指します
2. 「花」「海」「島」を活かしたランドスケープと園遊空間の場づくりを図ります
3. 21世紀の快適な都市づくりとライフスタイルに新たな提案を行います
4. 周辺との連携で核となる整備を図ります

ゾーニング



展望ゾーン

斜面緑地を保全しつつ、篝場山からの大阪湾の眺望を中心とする展望点を整備するとともに、林間のレクリエーションの場とします。

文化交流ゾーン

瀬戸内海や淡路島の自然・歴史・文化を基調としながら、国際交流にふさわしい庭園的(園遊)空間を整備します。

海岸ゾーン

海辺の開放的な空間を活かしたレクリエーション利用の場とし、広域観光の拠点を整備します。

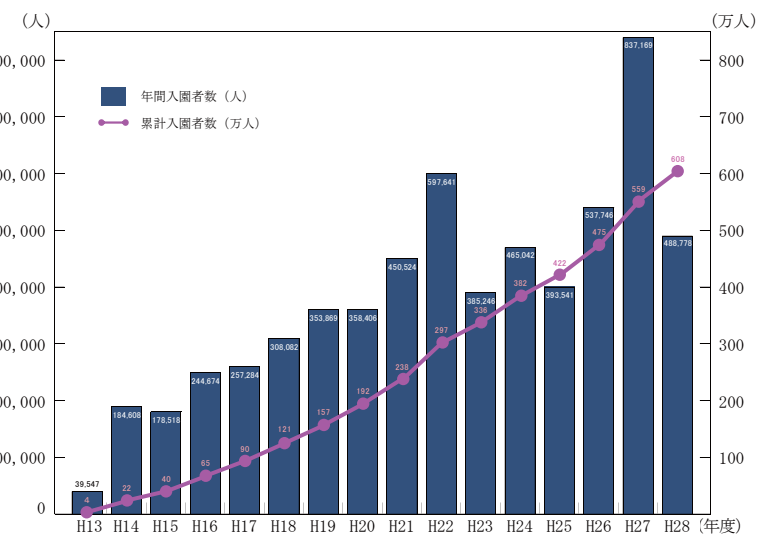
整備状況

淡路地区は隣接施設と連携を図りながら整備を進めており、平成12年3月から同9月までの期間には国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」が開催されました。

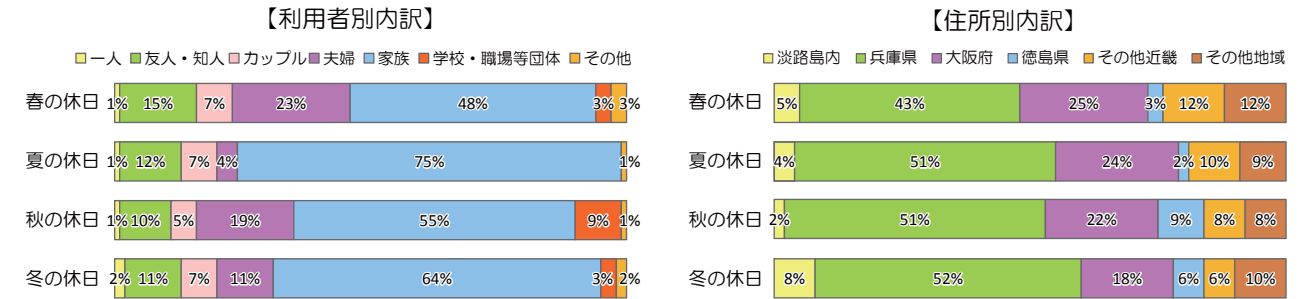
平成14年3月21日に文化交流ゾーン、海岸ゾーンの一部30.1haを供用開始し、順次整備を進め、平成29年4月現在は計画面積の約4.2%となる40.4haが開園しています。

年間利用者数

平成14年3月21日の第I期開園以来、入園者数累計600万人を平成28年12月に達成しました。また、平成27年度の年間入園者数は、「淡路花博 2015 花みどりフェア」開催もあり、過去最高となる83.7万人を記録しました。近年は概ね50万人程度であり、平成28年5月に神戸地区が第I期開園を迎えたことで、2地区一体型の特徴を活かし、更なる利用促進を図ります。



平成26年度～28年度の公園利用実態



防災拠点としての公園利用

淡路地区は、兵庫県地域防災計画(平成26年11月現在)において広域防災拠点として設定されています。

平成27年3月17日には、自衛隊が迅速かつ適切な災害派遣活動を行う広域防災拠点として淡路地区を活用することを目的とした、「災害時等の国営公園の占用に関する協定」を締結しました。



協定締結式



ヘリ発着訓練

上空からの写真



[平成15年5月撮影]

供用区域 <40.4ha>

国営明石海峡公園淡路地区 <計画面積96.1ha>

淡路地区 整備計画



経緯	内容
平成 6年度	明石海峡公園基本計画策定
平成 7年度	国営明石海峡公園(淡路地区)工事着手
平成11年度	国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」開催
平成13年度	第1期開園(30.1ha) 文化交流ゾーンおよび海岸ゾーンの一部を供用開始
平成15年度	第2期開園(6.2ha) 移ろいの庭、芝生広場を供用開始 第14回全国「みどりの愛護」のつどい開催
平成16年度	第3期開園(0.9ha) ビジター棟、淡路ロケート等、芝生広場大型複合遊具の供用開始
平成18年度	累計入園者数100万人を突破
平成21年度	累計入園者数200万人を突破
平成22年度	淡路花博2010「花みどりフェア」を開催(平成22年3月20日から5月30日) 第4期開園(2.3ha) 淡路口駐車場、9号園路を供用開始
平成23年度	累計入園者数300万人を突破
平成25年度	累計入園者数400万人を突破 国営明石海峡公園整備・管理運営プログラム策定(平成25年度から平成28年度)
平成26年度	淡路花博2015「花みどりフェア」を開催(平成27年3月21日から5月31日)
平成27年度	累計入園者数500万人を突破
平成28年度	第5期開園(0.9ha) 淡路口駐車場、細園路を供用開始 累計入園者数600万人を突破 国営明石海峡公園整備・管理運営プログラム策定(平成29年度から平成32年度)



凡例	
記号	名称
	都市計画決定区域(96.1ha)
	供用区域(40.4ha) H29.4現在



淡路地区の見どころ



淡路地区の魅力 その1

海に面した淡路地区では、公園内のいたるところで海の景色が楽しめます。月のテラス、空のテラス、海のテラスなど、大阪湾や紀淡海峡を一望できる眺望スポットがいくつもあります。



淡路地区の魅力 その3

淡路地区は、チューリップ、ユリ、アジサイ、ヒマワリ、コスモスなど、年間を通して四季折々多くの花々をご覧ください。大規模花壇をはじめ、園路沿いのボーダー花壇、そして珍しい花が傍に咲く散策路など、様々な形で花をお楽しみいただけます。



凡例

レストラン	トイレ	車イス対応トイレ	遊具
公共電話	駐車場	非常電話	
有料エリア	車椅子通行可能園路	癒え箱花壇 (季節の花がお楽しみいただけます)	
	癒え箱花壇	花壇使用可能エリア (しおさい花園)	
	遊具	遊具	
	遊具	遊具	



淡路地区の魅力 その2

いくつものスライダーや空中ネットや夏場の水遊びなどが人気の大型複合遊具「夢っこランド」、ユニバーサルデザインを取り入れた大型遊具「子どもの森」、スワンボートに乗って水路を巡る「花の中海」など、様々な遊具施設があります。



淡路地区の魅力 その4

週末には年間を通して季節毎に多彩で楽しいイベントを開催。園内の自然素材を使ったクラフト教室や、自由研究に役立つ展示、体を動かして遊ぶスポーツイベントなど、季節にあわせて実施しています。また、淡路市と合同での夏まつりのほか、野外コンサートの開催なども毎年行なっています。



淡路地区の四季を彩る花



春



ムスカリ
時期：4月頃
場所：大地の虹、ポブラの丘



スイセン
時期：3~4月頃
場所：陽だまりの丘



チューリップ
時期：4月頃
場所：大地の虹、ポブラの丘



カワツサクラ
時期：3月頃
場所：春一番の丘



リビングストーンデージー
時期：4~5月上旬頃
場所：陽だまりの丘



ネモフィラ
時期：4月頃
場所：ポブラの丘周辺



シラン
時期：5月頃
場所：水の棚田周辺



夏



ポーチュラカ
時期：7~8月頃
場所：ポブラの丘



アジサイ
時期：6月頃
場所：空のテラス周辺



ノウゼンカズラ
時期：6~9月頃
場所：海のテラス周辺



ヒマワリ
時期：7~8月頃
場所：大地の虹



サンゴシトウ
時期：6~10月頃
場所：バームカーテン他



秋



コスモス
時期：9~10月頃
場所：大地の虹、ポブラの丘



アメジストセージ
時期：10月頃
場所：花の丘道



ツワブキ
時期：11月頃
場所：瀬川沿い、花の谷



キバナコスモス
時期：9~11月頃
場所：大地の虹、ポブラの丘



ダリア
時期：10~11月頃
場所：陽だまりの丘



シキザキザクラ
時期：11月頃
場所：花の丘道



冬



クリスマスローズ
時期：12~3月頃
場所：花の丘道



ヒオラ
時期：12~4月頃
場所：各所



ユリオブスデージー
時期：11~5月頃
場所：月のテラス周辺など



ウンナンオウハイ
時期：2~3月頃
場所：花の丘道~
花の谷



カンザキナノハナ
時期：1月~2月頃
場所：移ろいの庭



ストック
時期：12~2月頃
場所：陽だまりの丘



季節を通して楽しめる花



タコトピアリー
時期：一年中
場所：東浦ロケット前



花火鳥
時期：一年中
場所：大地の虹

神戸地区

計画面積233.9ha 供用面積41.3ha

コンセプトは「里地里山文化公園」

大都市の近郊で、里地里山文化を体験できる公園づくりを行います。



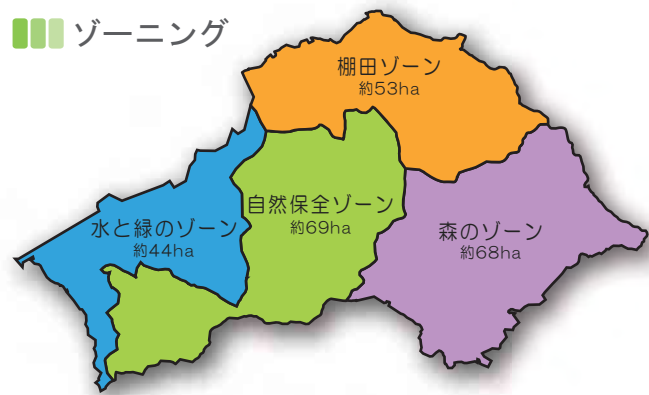
（昭和50年撮影）

基本テーマ

土地の歴史・文化を含めた自然環境を保全し、自然との共生を中心とした伝統的な自然観を継承することによって、いのちの賑わいが豊かな「里地里山文化公園」を目指します。

1. 歴史・文化を含めたこの土地の里地里山の景観を、新たな技術を導入しながら再生し、継承していくことを目指します
2. 国際都市神戸に位置することから、自然と人との共生という伝統的な日本人の自然観を海外の人々にも発信することを目指します
3. 誰もが利用できる都市公園というレクリエーションの場を活用して、里地里山文化を体験できるとともに、大規模な里地里山を「動態」として保全し、これを継承していく際のモデルとなる公園づくりを目指します
4. 環境保全と豊かな暮らしを同時に求める、持続可能な新しいライフスタイルの提案を目指します

ゾーニング



- 棚田ゾーン** 棚田などの里地里山景観を保全・継承しながら、里地里山の生活技術や歴史・文化を継承します。
- 森のゾーン** 美しい風景を創出しながら、幅広い世代の余暇活動や自然環境の大切さを学習する場とします。
- 自然安全ゾーン** 管理と利用のバランスを保ちながら、多様な動植物の生息・生育環境を保全します。
- 水と緑のゾーン** 隣接するキーナの森や自然安全ゾーンとの生物多様性のネットワークの保全・形成に配慮します。

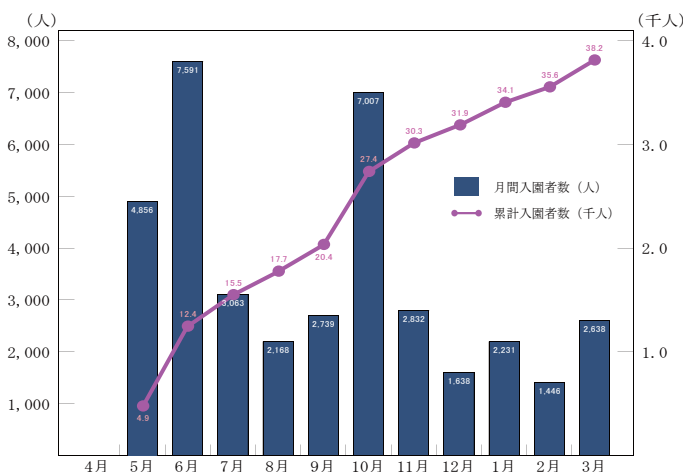
整備状況

平成28年5月28日に棚田ゾーン、森のゾーン、自然安全ゾーンの各一部（41.3ha）を供用開始しましたが、花のみどころ整備等で更なる景観向上を図るとともに、次期整備区域の森のゾーンの計画づくりを進めています。

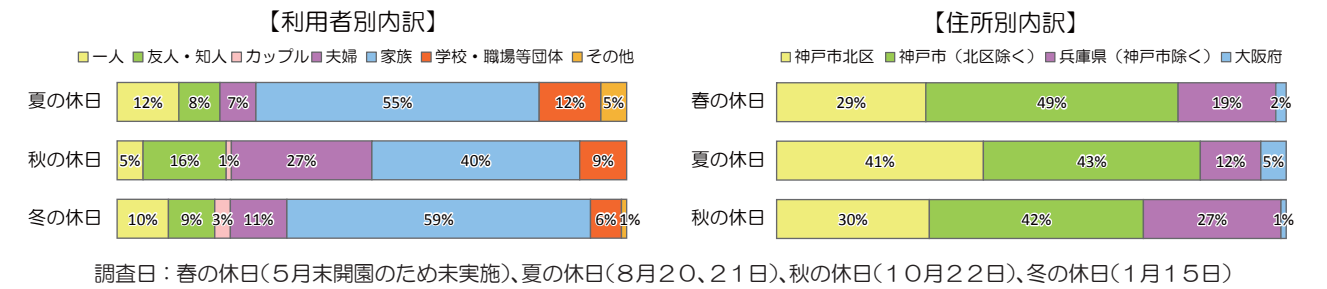
利用者数

第1期開園を行った平成28年5月28日から平成29年3月末までの累計入園者数は、約3万8千人となりました。開園記念行事が行われた5月、6月を除くと、「あいな里山まつり」が行われた10月が記念行事開催月にせまる約7千人となり、開園以前から開催を継続してきたイベントの集客力が非常に高いことが分かりました。

今後は、神戸地区の地域の特性や歴史を活かした更なるサービスの提供を行うとともに、知名度を高めることで新たな来園者の獲得を行っていきます。



平成28年度の公園利用実態



上空からの写真



里山環境の保全

里山風景を維持・向上するため、樹林・草地の適切な管理を行います。樹林地・水田跡地・ため池などに適正な管理の手を加えて里山環境の維持向上を図り、野草などの生物の保護・増殖に取組み、公園の魅力にしていきます。神戸地区に見られる貴重な植物の多くは、雑木林、畔草地、ため池、湿原などのピオトープに対し、下草刈り、落ち葉かき、刈り払いなどの生産管理による定期的かつ継続的な人為影響によって維持される環境下で生息している種です。

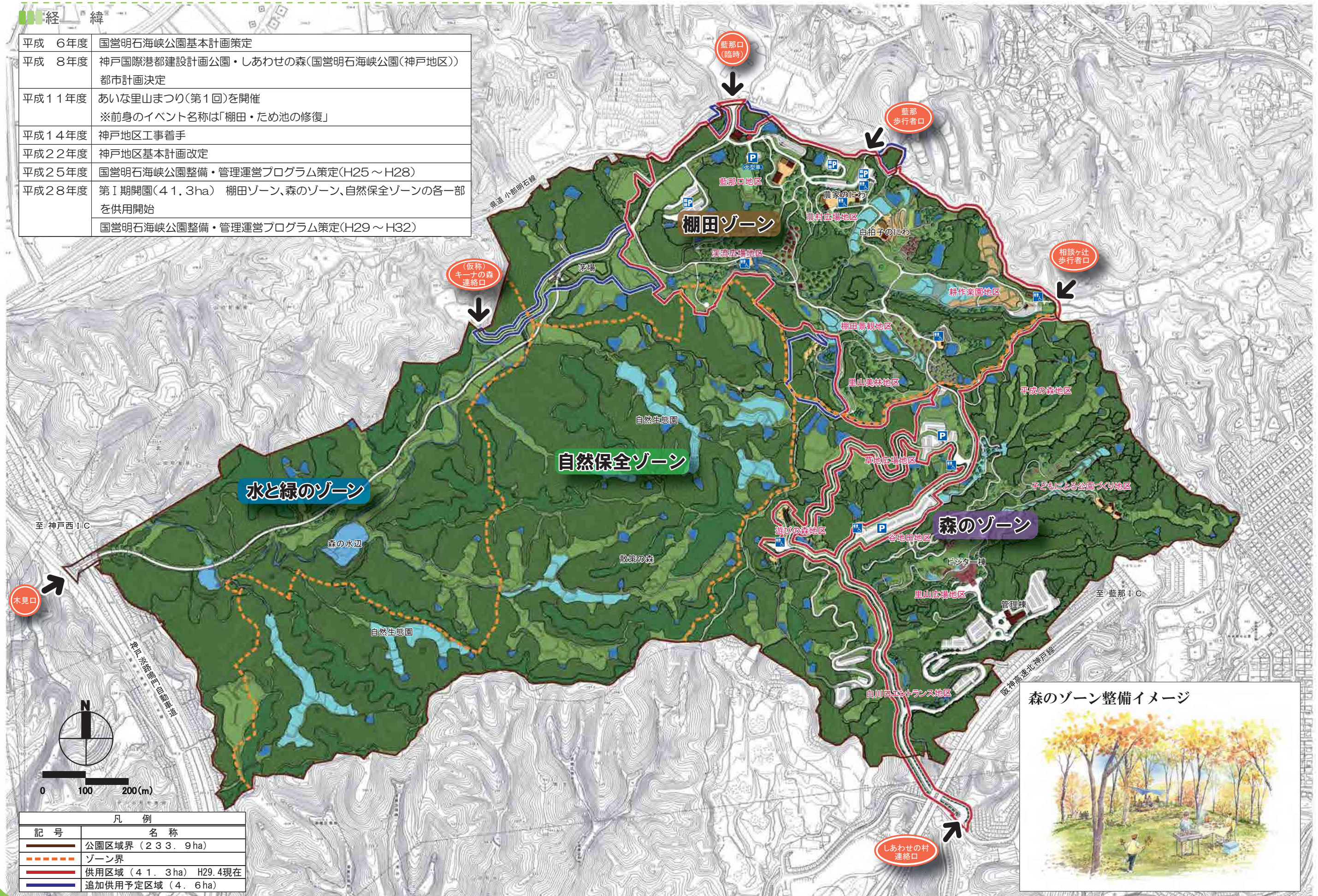


当公園の正式名称は「国営明石海峡公園神戸地区」ですが、多くの方々から「あいな里山公園」の名で呼ばれています。これは、所在地である藍那と里山保全活用型の公園を目指す事から用いている愛称です。
※地図や公式な書類には「あいな里山公園」の名前は出てきません。

神戸地区 整備計画

経緯

平成 6年度	国営明石海峡公園基本計画策定
平成 8年度	神戸国際港都建設計画公園・しあわせの森(国営明石海峡公園(神戸地区))都市計画決定
平成11年度	あいな里山まつり(第1回)を開催 ※前身のイベント名称は「棚田・ため池の修復」
平成14年度	神戸地区工事着手
平成22年度	神戸地区基本計画改定
平成25年度	国営明石海峡公園整備・管理運営プログラム策定(H25～H28)
平成28年度	第I期開園(41.3ha) 棚田ゾーン、森のゾーン、自然保全ゾーンの各一部を供用開始
	国営明石海峡公園整備・管理運営プログラム策定(H29～H32)



神戸地区のみどころ

神戸地区は、伝庫の家や白拍子の家などの茅葺き民家を移築し、農村舞台の再生等により小規模な農村集落を再現しており、里地里山の学習や素材を生かした体験ができる里山交流館や木工棟、水辺の生きものを観察できるデッキなども整備しています。また、樹林を間伐し手入れした里山林では、足元まで光が差込む落葉樹林など、四季折々の景色を楽しみながら散歩することができます。



① 木工棟 (茅葺・瓦葺)



② 里山交流館



③ 農村舞台



④ 茅葺民家 (伝庫の家)



⑤ めだか池



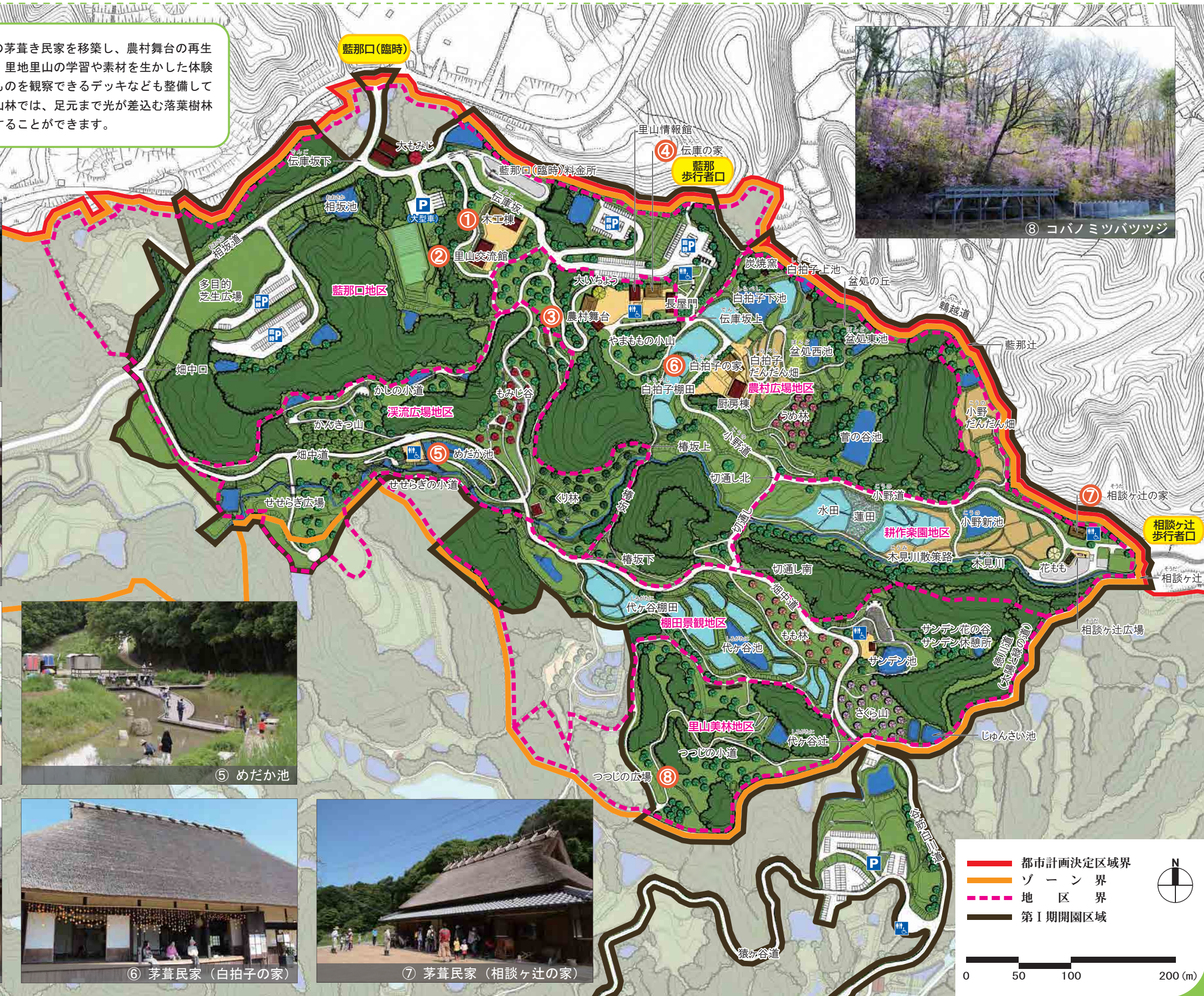
⑥ 茅葺民家 (白拍子の家)



⑦ 茅葺民家 (相談ヶ辻の家)



⑧ コバノミツバツツジ



伝統的な自然観の継承

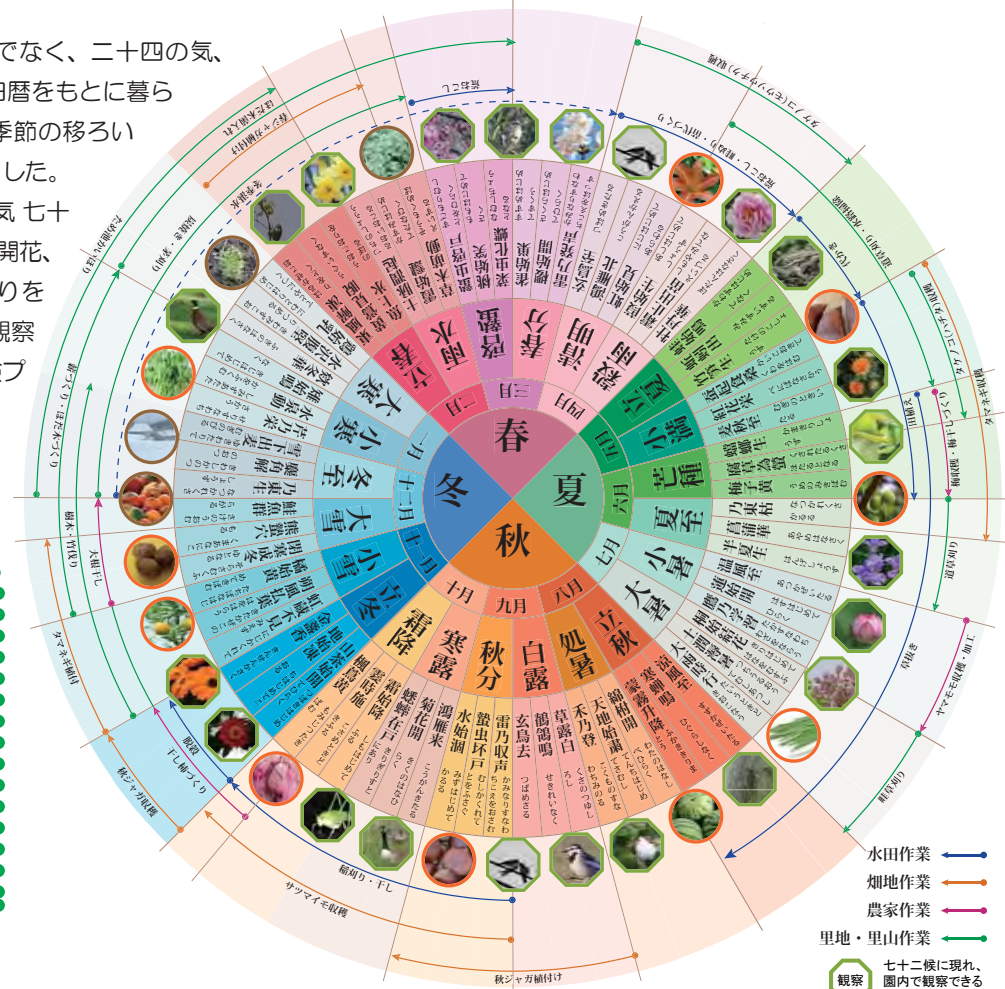
日本には、春夏秋冬の四季だけでなく、二十四の気、七十二もの候という季節があり、旧暦をもとに暮らしていた頃には、人々はそうした季節の移ろいを細やかに感じとって暮らしていました。

あいな里山公園では、“二十四節気七十二候”で表される季節の節目や花の開花、虫や鳥の出現など自然の移り変わりを感じながら、農作業や収穫、自然観察や里山の暮らしなどさまざまな体験プログラムをお楽しみいただけます。

にじゅうしせつき しちじゅうにこう
“二十四節気七十二候”
 ってなに？

二十四節気は、太陽の年周運動を15度ごとに刻んで24に等分し、約15日間のそれぞれの季節にふさわしい名前をつけたものです。

二十四節気をさらに3つに分けたものが七十二候で、約5日ごとに自然現象や動植物の変化を表し、季節の移り変わりをより詳しく教えてくれます。



※この図は「日本の七十二候を楽しむ」(東邦出版)を参考に編集したものです

体験プログラム(例)

季節	春			夏			秋			冬														
	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月												
二十四節気	立春	雨水	啓蟄	春分	清明	穀雨	立夏	小満	芒種	夏至	小暑	大暑	立秋	処暑	白露	秋分	寒露	霜降	立冬	小雪	大雪	冬至	小寒	大寒
農と収穫	水田の水路堀り・畦塗り		田植え		ジャガイモ掘り		稲刈り・脱穀		大根・カブの収穫															
自然観察	春の野草観察		田んぼの生きもの観察		夏休み昆虫観察		きのこ観察		冬の野鳥観察															
里山の暮らし	春の山菜摘み		やまもも摘み・ジャムづくり		竹皮ぞうりづくり		干し柿づくり		冬の伝統行事															
里山管理	茅刈り		タケノコ堀りと竹林管理		樹林の下草刈り		樹林管理		炭焼き															

里山体験

神戸地区では、畑での草取りや野菜苗の植え付け、種まき、間引き、収穫作業などを、茅葺民家や広場では野草茶づくりや収穫物の加工、薪づくりなど、時季に応じた作業と収穫を体験することができます。そのお礼として、少量ですが収穫物を調理して味わったり、持ち帰ることができます。

